歌集

初篇

下

類題春草集 初篇下

戀

戀

人やりにあらぬものとてもの思ふに
行のもやうをやるてあらひとりたゝるさま　安屋孝之

さくらのゝあにおりてあく坂の今すぬ[illegible]ちる　照信

つゝさもとゝふてめてつゝゝ[illegible]人のうたゝん　知足

まちゝふとゝひおてきゝうゝ[illegible]　季秋

うゝ人のゝゝみふめゝゝあ紙よゝちゝあゝちゝちゝゝゝの　堅田種知

あゝゝゝ姿をゝゝめるゝゝの吋よゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ　忠哲

却ひゝゝゝゝ戸きゝゝゝ寒庵の妻やゝゝゝゝゝゝゝて　伴雄

栄子

高子

絲子

通明

繁里

高子

周正

通明

英子

陣正

初意

忍意

忍通心意

祐氏

勝成

陣正

利次

不被知意

聞意

直車

不見意

祐氏

照信

直車

思不言意

初見恋　石足

思恋　勝成

互思恋　浄曜

片恋　高子

切恋　濱野　真鶴

初恋　利哉

通明

高訓

寄人形のいのりのとなたのそにもう紀せのうえさまられ人

あるものとこたのうれをみなくふんよりめをとりけぬるなし

寄人形のいのりのきとあんあれあるものあるーの

いのをとも形あをとんうとのの枝のしめをかくる恋せー

清匡

橋夫

石井　いち子

正勝

楽子

利哉

惟易

譲

芙子

直養

恋

君くやとやとつる亀のうとをみるあんあるとんの

さるのうちとんくるもおるるとのくんくんのうをなるきぬも

初遣書恋

遣書恋

あるあるくんくうをてうるあをんをきにおるのくう邦

通書恋

ものにあるをちにるるるるうのうーやにあるれそ

うちんくのんるるぬるるをんもをてみくるんちるりけり

見手跡恋

ほをんをるるくまりくものれをれをるの江とえるり

直華

待恋　秋篠のことひもかよはぬあはぬうまの山こえにあるみのをしさく
あるこの人のつまる世みてこひたくてもさらくしひさう邪　定教
ちはやぶきしの人をあはぬあのをかはようてあけもく待のをを邪　武藤吉祥
山ちのをもはぬ山をつのとりにのををををひ花ちきうえけり　鈴木泰平

毎夕待恋　月まつとをくいをりをくのあいをちもりの数つもりけり　正範

連夜待恋　よひくの月をあひをちをてんをやみふをりにけるを邪　御民

待空恋　七月のをの月をつくくとををひをひをうをんをををひ　直行

待久恋　住をのきしの波れををくのをあををくををにけるを邪　照信

不逢恋　あをのかをみをあつりをを袋ををあををををめるを波　譲

行をををくをををひををれををくををををををををををををん　寿胤

光明

いつををを人をををををあををををををあいをををのをを波やををん　高子

互忍不逢恋　君をいををを人をの関をを坂ををあをををりををををををを　尊孫

逢不過恋　かををつををををあをををををみをををををを　高子

別不逢恋　波をををを中ををををををををををををををををををををを　義年

初逢恋　あをををを人ををををををををををををををををををををを　陣正

をををあをををををををををををををををををををををををををを　直養

義年

逢恋　恋のをををををををををををををををををををををををををを　義年

あををををの門ををををををををををををををををををををををを　陣正

をををををををををををををををををををををををををををををを　宣也

をををををををををををををををををををををををををををををを　孝之

[illegible] 英子

夢中逢恋 [illegible] 蔭住

[illegible] 瀁

別恋 [illegible] 直幸

[illegible] 亀佛

[illegible] 寿童

[illegible] 數子

帰恋 [illegible] 西生寺 映空

[illegible] 真鋤

[illegible] 浩菴

[illegible] 祐氏

後朝恋 [illegible] 宣也

[illegible] 陣正

[illegible] 長俊

名立恋 [illegible] 瀁

契後世恋 [illegible] 祐氏

憑恋 [illegible] 奥道

吾恋 [illegible] 陣正

[illegible] 直幸

和同恋 [illegible] 安居

被軽賤恋　数もあるものすさびとて袖をうちはらひもあみにげこれつ　珠子
貪　恋　吉使ひ今宵の道をたどりてやまつ〳〵多くひとをたけん　利哉
稀問　恋　夏の出花とおもふる面のおもかげのきもんに君ぞ生ひ　直幸
うるうにんのまりつかれてしてもれに人乃口をとりてん　英子
隠逸恋　とびくるまつりてく小車をそむこと人のしらせー　利哉
過門　恋　まゐりとひたくてゆく小車のうしやうれもう人ぞすん　文則
近　恋　苦悩のもちぐさをもちたくてつるゆたこのうたて　通明
不忘恋　今もなほとまれもうけきあーの紙川あー人乃あるみ　知足
日増　恋　はたくてもけさるとひとまるみたれといくてもう　英子
経月　恋　めぐり来てみるあとてあるとてはるこのにてをゆるつた　正孝

老　恋　樺巻をもちのもひのこれあるたてそらく腰をあるれとうなよ　在由
ちの身のをとまるみとゆるされてうれたるのあるとうなる　青木行敬
舊　恋　年をとるてるされめれて身みるる意のやうとかをせさうそう　武延
久　恋　あるくてあるーうーされ身にもぬとうるを人のんとのう邪　御民
恋妨学問　毎夕にはるるみあるてみみとうんとありよ和のありけり　直養
風声催恋　松みるる中とうあり花歌の恋にるほをきくにつひてん　通明
後会期花時　さういとんちるるむうー橘をもとすんたをさるあるぬ　陣正
等思兩人　もむるんにあふかくてのいうあるとうのちるくとの恋　利哉
二勇ふとひみくうー　あの紙の来よりうんなようーんとよしん　川蔭
山家恋　その中のうれ恋にけるうくあの意をとさけんかうれあるもれ　奥央

絶中恋　柳子

変恋　豊秋

隔聴他恋　三崎　氷山

絶恋　直幸

絶久恋　祐氏

祈絶恋　吉子

絶音信恋　陣正

絶後悔恋　順良

絶後恨恋　橋夫

恨恋　安居　喜村　正教

あくさにしをくらんなまりしものを　直幸

恨世恋　こひしとやるつゝみひとつのゆゑをもあくるあまの袖をもとかつゝ　珠子

恨身恋　人やらうしるべをとげんひもかゝみくもれをそこそしらぬをこ　楽子

恨媒恋　つんおとりもきゝうるかとはりときゝ人のくゝめ一ぢ　利哉

人傳恨恋　いそてゝ人めつゝにこもあそこそのあやうしくみを　重良

朝恋　あつけてかつるあふ拾きものこゝろくさくさこゝしやすれぬる　長俊

晝恋　いつふきん今ものはるさ紅葉てひるさくさ人乃こひかりける　川蔭

夜恋　さむろふれてゝ紅葉つんとおりくゝあも袖ゝ是さりけり　陣正

月前恋　月ゝてもはひはるゝ紅葉ゝおくゝ人のつゝさのくもをあつて　宅由

あとふ袖のあるゝさに新月ゝこゝろひもあをとゝひそり　氏保

桂をるゝとゝこゝろにひつゝ月にこひをあゝ一ちりそり　直孝

かとゝ一ゝ袖ゝこゝ人ゝ今ゝあゝ月のえゝゝ　宅里

恋夢　あふとゝん一ゝ夢のさあゝるゝ浦にゝゝ海森にゝく　瀧

ひあんゝるゝつゝあもあめゝゝ人のにひゝるゝ袖を　周徳

あふとゝん一ゝ袖ゝゝるゝりゝひゝゝゝ人のつゝゝにて　寛命

ひあそあふとゝん一ゝさあゝれとゝあゝゝゝゝゝゝゝ　蔭住

あゝ人ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ　田川 恵篤

いゝさゝゝゝ庫ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ　陣正

恋涙　あゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ　清邦

恋終　あゝれゝゝゝゝ風あゝけゝ大ぬさのひくゝあゝゝゝゝゝゝ　在由

春恋　祐氏

かるる君をある夢ぞのあくがれにたちかくしんゆれさうみてん

梅ぞ春をしるべのやみぬ人なあくがるる郭　奥道

まがやさハるあ〜〜人ぞうらあるうめとうてあるぬるあ　明

夏恋　直垂

名のそこ人のそうめうこうくはまあてのこて春をそ〜をに

時ぞあるうこうのうたあ〜時をあるまつ岳ちけぬとこくはてはや　景福

言ふのしけて〜岳のありぬ岳八姫のをうきくはつくてを岳　楽水

時をるまうをかとに移ぬやう〜て人をのくはをにあをはれ　南扉

秋恋　宗逼

姑とはいかにそ名にくのあうにはにをにはらふはしくはし

姑風のあくにはにはあけくるる義のうにはのうめはうにをを　濃

調の紙にはさうてあるくにうあり人の姑をるをあをあけり　祐氏

七夕恋　安居

姑あるうこのまあにおしあはちのはのふうのんまうてんしらむ　孝之

冬恋　枯氏

きのようのこうこうにてあれけるくをあのはのはうこうこハ　照信

歳暮恋　忠厚

つうしうしてるをこうをはあてこしあ年のうれふけるの郭　高子

こけるあるくのうのまるあうこハくうこうむ春をこきこうしあをを　高鞆

春をこけるはつれをうけるあにうこうこけるくのあるこうのあまをこけのはをうるん　利哉

陣正

世間百女はなし

[illegible]　周徳

[illegible]　利哉

[illegible]　照信

[illegible]　橋夫

[illegible]　陣正

[illegible]　直率

[illegible]　利哉

[illegible]　英子

[illegible]　陣正

[illegible]　政子

[illegible]　陣正

[illegible]

高

ちひろけくる女のこゝろをうたへる

吉野さくらをうゑてくれ繁のくもりなみて花にあかぬあるうらみん　周正

くるゝ法さるふかにのうゑてひとゝなれは法にめれぬるとしてを分

のきくゝのうゑをとらんとてくるゝ

うちなれぬのくゝくのこゝろをてつゝあれくるなりなとまちんや　利哉

人をまちうけしるまて男にあひてく成にげるはな

知あけにんるくなる人をよ　今のとりくまてしてげうなる　高子

おもふくゝ恋りけるを女のこゝろにをしてくゝめげうるゝくけをいらひ

つゝをさんといふをとゝこにかうて

あふ坂の関をあふくこゝろてきあるものをこゝろを君にあうをて　楽子

異のこゝろをあふくゝ本さうけるをあて特けるのくやちひこまん

くゝとやひおをけるに恋をのひるをにからて

おろふるあくのつゝさ拔あひにつめのあてこゝを恋ぬあくゝ　高子

うくゝひけるをとてあくこゝて後をとゝせけるにをのあのふる

あつくゝあるをみのをにををけるをとうつてをんよ　重技

久

ワれもをゝあをあをにのるまんかみいてゝ君ゝかけもうゝん　よ技

寄月恋　あくこをとうんのをにをもををゝめにをゝや月のをめくゝきめん　宅由

寄雲恋　ふく風にをうをせてをあひくゝうををやあくををにあるををををひけん　鬼佛

うをををくのゝをてゝをゝををををひ風をゝくゝてやるゝまゝをゝ　濃

寄風恋　直子

寄雨恋　端之

寄雪恋　周徳

寄露恋　直甲

寄山恋　定奥

陣正

増田久筭

寄滝恋　童威

寄淵恋　珠子

英子

寄海恋　浄曜

橋夫

寄関恋　継照

寄橋恋　周正

寄花恋　祐氏

直車

竹子

寄竹恋　宍戸志尾

寄草恋　楽水

大島朝信

[illegible]

寄夕顔恋　久籌

[illegible]

寄萩恋　松田直愛

[illegible]

寄紅葉恋　祐氏

[illegible]

寄草恋　通明

[illegible]

寄萍恋　英子

[illegible]

寄海藻恋　久籌

[illegible]

寄鳥恋　橋夫

[illegible]

[illegible]　守正

[illegible]　李秋

[illegible]　祐氏

[illegible]

寄貝恋　川蔭

[illegible]

寄牛恋　重名

[illegible]

寄車恋　宗憲

[illegible]

[illegible]　直幸

[illegible]

[illegible]　守道

[illegible]

[illegible]　重良

[illegible]

寄衣恋　楽子

[illegible]

[illegible]　瑞之

[illegible]

寄扇恋　楽子

[illegible]

[illegible]　與道

[illegible]

[illegible]ひて人にあまたのきくうみてくひつりへ空にあつさ　通明

寄笛恋　いそのかれくまふかぬ笛休のこちくてふえのくさくたん　知足

大くるのあをひにかくそこの笛もまるにこるるにそこ長きく　重名

寄鏡恋　[illegible]　義年

寄糸恋　[illegible]　宇佐義祐之

寄縄恋　[illegible]　孝經

寄髪恋　[illegible]　寿胤

寄剱恋　[illegible]　顕豊

寄矢恋　[illegible]　義年

人にあまたの言ひまつひくうたくんたくん　八田知紹

寄火恋　[illegible]　祐氏

寄塵恋　ひとりぬるあのつりけり蓑のあのちのとあるまそ　いき子

寄夢恋　[illegible]　滋

[illegible]　景福

寄神恋　いきてらんみちその計やめしはしはしとしひも祈しつむやと　楽子

寄述懐恋　[illegible]　高子

日　星　雲　雨　風　烟　曉　暁　朝

雜

久かたの天の川原に八百万千万神たちの集ひ集ひて
てる月の清き影をば飽かずとぞ思ふ人の数に入らぬ身の上
山の端をまもりあかしてをれば今宵の月の
たゞ独りのみ見るかなしさ　安居
久かたの天の川原に月はやそこにかゝらす　景直
あまの原ふりさけみれば春日なる三笠の山に
いでし月かも　直平
雲はたゝ月のまもりとなりぬれば
雨ひとしきりぬるゝあはれ　守道
木の葉の表やうりしまれるこゝのすゝしさの吉野山
　重春
　安居
　直平
　景福
　濃

夕

行すとなくこの方一はくのあさもやにくもりはてぬくれぬ　後藤宏生

夜

雨　あの松ぬれて雨の音はきこゆ　おもの一つげさ　英子

ひくさゝの人はとひこぬ葉の戸をおもくなるなる　數子

深夜燈

さゝらけて消ぬんとすれどもしー大をかけんとあるあ行さめけん　正民

山

てしをのかるゝ音とあるかなきこゆ　童良

峯

久うこの宇ゆくをのかるにてとりの音のこゑをとり一孔　宝由

名所山

平郡山新立かうしをたをてこゝろ一ゆにはりげさ多　順良

富士山

大空をかすめくるのの白雲八月日のあり紅ひろくありけり　御民

あゝこの土あるりとのあり白雲ふ雲あの地とさゝめん　柏木直輔

雲をみるまてあれにかくるのみれ雪なりとりけん　重峰

瀧

白のふるのゝ高の白雲八ふりとのをたにうゝさゝもけり　橋夫

ふのゝとをりさけんてを久うこのあるのあるさのあるくく　陣正

ふるまるのつりてをくぬふのゝ代ふくやありさうん　元固

雲をなの水鏡山をえて

ちるひちの幾代つりて天をのかるゝをあるるん　松川齊

瀧

をもあれ雲にてをひとをれをたるくひく滝のまるあ　惟三

飛瀧音清

ふるりををくふきみ八滝にのみをたるまるを友とてをあき　直幸

ふるあれ八ふるりあをるあ八ふとをとをつ岩滝のまるをさけり　橋夫

名所瀧

岩根うつ波のまをてひくをあをうへのつゝみの滝とひろう　譲

ふををとえてやあるみあん三熊野の大瀧まるあり長　清秋

淵

おもてをつ滝のしをふをてあるのみとうに滝うをあん　清臣

河

みくりのまろぶしたるものさわしたるあさげたる平野河波　直孝

あをやぎのそよぐ山もゆるのくれなゐのこゝろにくそあるを　重名

山河の岩にせかれてあふれぬ水もうきせのある世なりけり　光徳

流水浸雲根

あをぞらの岩むしろにあそぶ雲のながれ水にうつるこゝろの　顕平

松下泉

ふるみのはるかぜにうるおひなる志ろがねの代もうれしとぞおもふ　譲

池

大井戸の池のうきすがたかゝるみのうつりかゝるみぎりの　宗定

湖

堅田なるあふみの海もあをぐもりひるの時はあらんとぞおもふ　弘光

海

ちはやぶるみの浦のきしにあらはれぬ赤のはまぐりのぞくもの　安居

あふの海あをひしらるゝかたのうみのあまの釣舟はるかに　通明

あをぐもの海のはてにうつる波にあめこそあり　尚孝

海上眺望

松浦なる入日のおもかげにたゝかへるかのゆみのそりかたん　真守

二月の沖なる帆のたゝにたゝ一ろにやかるゝのこるひかりん　茂枯

海辺眺望

あひなれぬとあてこゝろのかぜにゆらぐ蘆の穂にそりかゝる　菅夫

ひろみのゝはひのさまをうたへるせにおろしてふとのこゝろを　譲

ひゝ沢さゝいかるゝうきゝ丑ゝ波沢をゝとおさうてやうに　楽水

ちりまさる西行の浦のあるめにはとうさぶくありけり　周徳

浦

夕

こゝろくるあやの小あみの数をひてこゝろをかたまてれり　秀野

立のもるゝちやのそりひとれちにあひく風をたゝまをまを　加瀬元章

浦

烟

りはやくうしの呂ゐにうるまひけんをゝ沖の波ん　宗憲

りちやくそうや風まをあんの松原をうをかてをまる　楽水

いとゝ後の杉まてにうけあうこんやとなきはてゝ　定行
うゝの浦　いつしかとなきてゝ　浦の手波をとゝのへてゝ　浩菴
みめのうつにてあすのつゝみも見拾ひけりとゝて

あさとゝあ波とゝ見ひろふらんとゝみめの浦てゝ　寿嵐

湊　雨　小舟さゝ月のくもをつゝあさてゝみまとゝつけ所のあ　廣足

名所里　唐ゝめてゝすめてゝもゝ見浦なの里ハさひゝ所とゝありけり　照信

そのかをゝてゆあくる浦のさゝ舟かけたゝとゝありけり　真守

関路　あふ坂やこゝ四ゝ宮ハあけぬれゝとけ所乃しゝゝ　茂樹

駅　あ所乃ゝ見ゝ坂やくゝんゝけゝてゝ　繁里

名所市　石とふりけゝ市を椿市のつゝ所乃ゝ所ゝ　春岳

故郷水　ふるさゝの杉井のゝゝつゝてゝ所すみゝとゝきゝれゝ人ゝ所ゝに　秀野

荒屋　さゝうゝの糸ハ新ゝ所ゝ乃ゝくゝる人ゝ所ゝくゝて　春樹

幽栖　ゝれゝゝゝ

山家雲　[illegible]　茂樹

山家畑　[illegible]　矢野さみ子

山家水　[illegible]　奥道

山家搞　[illegible]　藤木芳蔭

山家鳥　[illegible]　秀和

山家夢　[illegible]　貞方

山家送年　[illegible]　安之

田家　[illegible]　石原廣業

田家畑　[illegible]　矢野正胤

田家井　[illegible]　裕氏

田家隣　[illegible]　知言

別　[illegible]　直樹

[illegible]　文則

[illegible]　道敬

[illegible]　日皖

[illegible]　重名

送別

[illegible]　李秋

[illegible]　忠原

二月[illegible]

うつろふ[illegible]　直樹

物集高世[illegible]

[illegible]　陣正

二月[illegible]古森清邦[illegible]

[illegible]　利哉

年改[illegible]

[illegible]　亀佛

十二月[illegible]物集高世[illegible]

[illegible]

[illegible]　義年

[illegible]

[illegible]　守正

[illegible]

[illegible]　足立祐之

[illegible]

[illegible]　由周

旅

旅行人ゆのもとうにて別をしむこゝろ

旅衣紀の浦ふく波のゝゝりてきみゆゑあゆやいつちは　忠俊

物集る世ろ函へうゝんとしげる時これ送ふゆくとゝやてあ

りてゝ出ろうとて

のりてゆくていきやおてゝん馬に鞭あてゝのゝいてゝのるへき　利哉

うひふかけゝ人ふさうにつげゝ

ゝ至ゝ所のもるにすりぬれ衣をちゝめてゝゝるゝりて　英子

ふるさとゝすみゝひてゝこゝ出らとゝひゝうゝたゆゝやゝさゝゝさゝけり　高子

山のゝのもいつゝゝ再あゝて本音法ゝゝひふ月ゝへゝけり　佐藤豊房

坂ゝのむれて行ゝゝ山ゝをひゝゝやゝゝんまゝゝひゝて　茂

春　旅　ふゝるゝゝ人ゝゝゝ世ゝゝゝ花ゝゝゝ

[illegible]

人もまつ[illegible]ひ森のこゝ[illegible]むすびやうとむさゝをの系　周正

旅宿をとゝもしけるに

夕月のいるゝこゝろ[illegible]あやくもるゝ暮出[illegible]　治世

於旅日記の中に

さゝなたの山路のたゝゆみぬさにとうゝ[illegible]ゆ[illegible]ひていのゝん　尚孝

四月一日長崎を立て向杵にゝくりけるに

かさゝ[illegible]のゝ[illegible]なもつゝれうしきの里ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]　利哉

旅宿にてゝくりけるに

旅衣ゝとゝまるゝて[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]　景福

遠望行客　ゝもゝゝのゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]　御民

渡頭行客　いゝゝゝ

巖上松　宗備

名所松　周正

故郷松　利哉

赤塚孫重

椿

樂水

直樹

盛次

[illegible]

高子

光明

樂子

珠子

陣正

英子

御民

[illegible]

馬酔木

朱櫻

栗

竹

鐘

月よみの面にもとれるをとゝく

利哉

萱草　名におひてなまめきたるものはなれどもうくひとの心をなぐさむ　高子

木賊　庭の面にとくさふるのあれば見てあるもあはれなり　梶江菊甫

萍　あるのうふねさしてとめぬうたかたのもとあやうちもあるべらん　高子

鷺　行くさにうくる池をあのさくふとえせるみのうたかた　守道

苔　夏山の木の下ふかみまめなれど宮にけちえたるもあはれ　忠厚

鶴　うの花のさくのねるもあはれなるのみくらもあるべしあれのうたる　尚孝

鶴立洲　あしたのあてはゆる洲崎みんなたちうてとうとみしう　恭龍

夕月おさしいでの松のうしろにかくれたる鶴のこゑのさやけさ　尊澄

大きゆおとりくくうろうてうろうかるやあくうう　景直

正雄

烏　あにもうこ汐干ゆゆる沖つ洲をやくるとあてれるうらぶ　重枝

ゆ松ゆ多る洲崎みてるあしたのあるとまてに波をせしい　桑子

山烏やとうあくてゆあのうちに杉のたやいかれたるうり　攸子

鶯　鶯のあまてうあてゆ月おあまにおれ出ぬうう　尚孝

鶯のあまてうあてゆ月おあまにおれ出ぬうう　田所顕周

鶯　鶯のあまてうあてゆ月おあまにおれ出ぬうう　安居

鶯　鶯のあまてうあてゆ月おあまにおれ出ぬうう　弘光

鶏　ちうつにおさるをくるひろ光ひるをとやうとを　孫重

都鳥　ことうれ隅田川のみやこるらくむーの人みてうくー　直行

鴨　すみさ汐ことうれやゆ丹のみをあ拾あれるもをある拾をうゆ　勉方

ゆ拾ことうる多のことひくやみさこるさてある波にうれつてをる

みそこうこと今けうとうんをハ波うこれ
吹あろ江れの浦〜〜と江ひ〜〜人家こ江ん〜〜のみきあ江げり
あ〜ひくるあ千のうえ江出て波後の波るのうめむ江ん江ろり
ふうけの芦あひ〜そる江ハ江ろあうりあ江て〜鷺のうすむ
いつくまて〜〜ふ江けんあ鳥のうれてこうる新のこ〜〜ふ
うえ江てるみえたうの江ハ波教〜ら江ハのうえこうア出江ろり
おりてのそこさまにのこ〜ひめてるるあ江さのかのあ中や舌の人

鷲 景福
鷗 浅野秀和
鷺 礼子
鳩 友子
鶴 菊子
亀 道敬
蟹 茂
鯖 正民
鯰 孝之
蛸 數子
牛 長年の さ枝とつ〜〜こうもり義ハ江ておもひ〜〜江ん
蜘 ハ江ろ〜〜ん系と金ハ〜〜こうるハ弥ひてもこうるうり弥

蟻 ひ江ろ〜〜こ江ハ〜〜ひるあ〜〜ろ〜〜ろ〜〜ろ耳〜〜ひ〜〜ろ
七曲のあの中にひ〜〜ひ後のハ〜〜ろ〜〜ろ〜〜ハ〜〜ろ〜〜ろ
寄虫雑 ひ〜〜ろのあ〜〜ひ〜〜ろ〜〜ろ〜〜ろ〜〜ろ〜〜ろ〜〜ろ〜〜ろ

馬 やハ〜〜ろ〜〜ろ〜〜ろ〜〜ろ〜〜ろ〜〜ろ〜〜ろ〜〜ハ〜〜ろ〜〜ろ〜〜ろ
狐 〜〜ひ〜〜ろ〜〜ろ〜〜ろ〜〜ろ〜〜ろ〜〜ろ〜〜ろ〜〜ろ〜〜ろ〜〜ろ
猿 猿人〜〜ひ〜〜ろ〜〜ろ〜〜ろ〜〜ろ〜〜ろ〜〜ろ〜〜ろ〜〜ろ〜〜ろ
犬 〜〜ろ〜〜ろ〜〜ろ〜〜ろ〜〜ろ〜〜ろ〜〜ろ〜〜ろ〜〜ろ〜〜ろ
兎 猫の〜〜ろ〜〜ろ〜〜ろ〜〜ろ〜〜ろ〜〜ろ〜〜ろ〜〜ろ〜〜ろ〜〜ろ
猪 〜〜ろ〜〜ろ〜〜ろ〜〜ろ〜〜ろ〜〜ろ〜〜ろ〜〜ろ〜〜ろ〜〜ろ
鼠 ちりつる本の〜〜ろ〜〜ろ〜〜ろ〜〜ろ〜〜ろ〜〜ろ〜〜ろ〜〜ろ〜〜ろ
〜〜ろ〜〜ろ〜〜ろ〜〜ろ〜〜ろ〜〜ろ〜〜ろ〜〜ろ〜〜ろ〜〜ろ〜〜ろ

長年
守年
梨子
陣正
元固
奥道
梨子
菊甫
元固
茂枝

魚

鯛

[illegible]

春の海波のゆたけ仲みそこさてこれをあつるもん　童良

いさのあやいそこ[illegible]に鯛をつけ　高徳

年魚

[illegible]　楽子

金魚

[illegible]　利哉

[illegible]　可逸

橋

[illegible]　尚孝

[illegible]　在由

車

[illegible]　孫重

[illegible]　野村元子

[illegible]　繁里

舟

[illegible]　陣正

[illegible]　譲

[illegible]　楽子

[illegible]　楯臣

[illegible]　茂枝

[illegible]　正孝

[illegible]　繁里

剣

[illegible]　知言

軍扇

[illegible]　宗定

烽火

[illegible]　景福

筆

碩　おもてこうたのあるしたくらのあるのむやまくりの池のさくら　正孝
玉　みつくるもよにはおーにのさえ老てゆめの法のちくんさん　繁里
金　世の中代人のんをよみとうてうえくにのいたくみまくくり　鬼佛
鉄　太刀こあり弾こまくてんくろくよてくるとうけにてみとうけけ　利哉
工　今の世にてしぬるあ鉄ゑ者縄をひにのとうてつくるあるあ　正孝
　　まつくるんくてくみのーこさくてうにのとうえくうきんみ　直樹
商　あうんにゆくあに人の世をとうる有るあ所やあひくくるん　弘光
樵　夫　ふくうくふくみひまうぜてのあくこうにやいくくるーん　祐氏
仙　人　てまん人や来こうくじてゆくーん　橋夫
海　人　昭後のたくのわくをふーきて後やくあまりく空ぬんん　八千子

遊　女　さー様のあくたおんにふゆよ繁のゆくんくれにてげんくんん　茂樹
辻　君　昭にいくあの月みあるれてくんくう人のゆくんゆけをたれ　廣道
親　くくもものあんくれてくくろれ、さあ月あ人をのうくみけ、　陣正
子　おくくあるかをあるくんあるくけ乃鉄くまさにおうまきのそよ　高鞆
老　くくにおんあくにくくんあ門ふるまくくるむくくをた　之祐
老　人　情　おいあれんあ月にけりくたあくくあるまくあ月の陽のさむ月のくくん　廣道
　　まるまくあふ三にあくめーあやきを今くうーくらのうくみまくめ　田能村孝憲
　　くくあもくくふ年のくくひあをもまくてやくくくのくくひみ四の長代　繁里

長谷部廣業
樂子
茂樹
廣道
陣正
高鞆
之祐
廣道
田能村孝憲
繁里

黄　細谷爲由

赤　尚孝

白　市原有政

黒　譲

小　樂子

薄　高田廣端

柏　樂子

迹　伴雄

懐　武延

之祐

直垂

政子

高子

珠子

樂子

陣正

氏見

兼有

重成

重名

夜迹懐

獨迹懐

老後迹懐

[illegible]　正度
人の[illegible]　橋夫
[illegible]　むつ子
[illegible]　楽子
[illegible]　英子
[illegible]　政子
寄世述懐
[illegible]　英子
寄木述懐
[illegible]　重枝
[illegible]　友子
寄竹述懐
[illegible]　在由

寄河述懐　[illegible]　尊孫
[illegible]　祐氏
寄井述懐　[illegible]　元固
寄水述懐　[illegible]　春雄（本田）
寄橋述懐　[illegible]　茂樹
寄神述懐　[illegible]　楽子
寄身述懐　[illegible]　高子
寄心述懐　[illegible]　直幸
寄玉述懐　[illegible]　重良
寄魚述懐　[illegible]　高鞆

[illegible]　照信

寄夢述懐　[illegible]　英子

夢　[illegible]　直樹

[illegible]　樂子

世路如夢　[illegible]　利次

[illegible]

無常　[illegible]　高子

[illegible]　英子

無常観身　[illegible]　寿胤

[illegible]　遠山正直

[illegible]　陣正

[illegible]

三月　[illegible]　直樹

[illegible]

八月　[illegible]

[illegible]　孝之

[illegible]　尚孝

母のおりひにおくり花をおくるとて

神[illegible]　茂樹

十市安居又のおりひにおくり花をおくるとて

[illegible]

人の歌をもかりて分にたれこの山ぞさもとそにやんとそ　陣正

旅にて分けるけるときめるかたにむる母のあるにくてれ
夕のつくのえをにおりぬるをとうもみく

人にいつるぞあくるもたるにかきのひいきてやみそん　高子

豪英法印分けるけるに

うれのみをつひにゆんたまくるを門出を今こそやとひ　譲

物集高世の後妻貞子たくるさるに歌のうとにゆしらやみつた
てぶてをまうりにけきいうをうもしに

おりこそあれ門出をとそにおうけあつひの袖こんけうきやんき　照信

村田屋正安のおひにこのりみるに

袖のうをおのこそこんてもさあやこぬ人やいふ人のうるそん　通子

妻のをひにこのりけるにをおてこもくこて

とそのにんむのつくこうをめしこをとるれるこに歌る海よ　之祐

有田こるこに月ゆ分けるけるにこれうをうこひて哉

ゆ白けるにある

四月きれこの月ゆ歌つくこと人をおうをきそをけるける　正直

おもの時部公催哀傷この歌を

ゆるゆんをつ　とそのちくきにこそのこ絵と君るゆんけり　正準

時をこくんつこと言そのこてこゆ人よあてやんを　真行

堀尾信恒ら十三回忌に寄花懐舊この歌をそのゆ三子こ

[illegible]

[illegible]　　照信

[illegible]の墓に詣て

[illegible]　　直章

横山桂子の一周忌に對月といふ題をその子由清に詠ませる

[illegible]　　橋夫

[illegible]　　元固

物集英子の一周忌に時雨催哀傷

[illegible]　　義年

[illegible]　　典則

有田高子の三回忌に對橘忍昔

[illegible]　　元子

[illegible]　　正躬

[illegible]の三回忌に

[illegible]　　之祐

有田高子の七回忌に寄夢懐舊

[illegible]　　陣正

[illegible]の七回忌に

[illegible]　　浩巻

林子平の五十回忌に

[illegible]

紀貫之の紀伊の九百年忌ふ神祇寺にて菊花怪者

[illegible]

[illegible]の[illegible]の[illegible]

懐

舊

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

直養

三子

定教

直幸

高子

利哉

三月ばかりの[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

陳奥[illegible]

[illegible]

九月ばかり[illegible]

[illegible]

[illegible]

樂子

陣正

照信

梅丘

[illegible]

あくて九月ころ

むつさとうびてのてらうの屋のまふさくれもるころて　孝之

[illegible]

つうつうくとも之ともくくみ生もあ者のうえにそひまさえ　高子

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

人のもとの心と春の屋とにけてその袖にけるあくに

之の中はきのけにふる出るとの心はもはつくし　利哉

思ひこるすとくとこにてこるにけるにくくうまてあるすくに

ふるてかくくあといひりにけるくのすとにおくくて考しけ

おいくくもさるあくもすのあるあのむくあくにをにあるにあ　高子

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

未度見ぬうこれのふみとあらせて物集る学に列をさせけるを
公にの木積と名づけそこの巻の序をひけるに紙をこておくりけるゝ

公にのにあうまこそたくさうくるれハふるもおもしろくうけり　陣正

もどき紙をのはるはるさしの表紙はあかねてとろひけまこん

勅撰くるれをもるもこと所のもつくるあこひけまる　尚孝

人の短冊よこうるをといひけまハ

ふるくさにうこにあれとかひもれたるくるかんくこそまぬ　宅里

人のもしめに髪ふはる油をとくこにうて

黒髪のみどりうにうれたるをんおれてのとちとこまと　利哉

異國船をせくといふを

神祇

いにしへてきりたうてん日本ヲこれのもつぬをこの名こら　種懿

天の下平安の宮のこひくらにをさまるもあ神このみとく　山田叡臣

うつをこのめにてとくよその中ハ神とあらぬこけきもあり　繁里

あしはの国のをにこつ杉のあるにて神のてろありけ　正民

神垣の名百枝を称うにたてしるにあ代みやをこ君をいのん　楽子

杜頭

あたこくー杜の大杉神さにて見をこくふく風のさう所　光明

あやくもあにん垣にのみてうこうにうをこうを　叡臣

佛釋教

さまくにあれをもひてこくのりめんの所にみあこみやある　寿胤

やこやく人ありひくあておやまつをあるけ巳法ゆえこ　英子

古寺

もこあひの時やいこあるこるふこのをこるようひくあり　赤塚之重

不倫恋戒　ちゝはゝ法ふんをせあんこうにうゝ儀もあれをとゝあるは　高子

祝　君が代のえいらくにたゝへんとて北とめもりにやはあるる　保命

ゆつるあひてくらもひろまるよ富のあのみをたれ代あるるゝ　磯部種信

新室祝　ひさへくるかをとのゝ万代をみてさゝえんはもろとゝをき　景福

君がとをきにつくるためあれよ代もてろにまるせてやきも　正氏

人の変に　今ゝうんんのきにゝくゝをんんの年万代きみにようせり　定奥

つるめをよ年の友ともゝりあてくさうはのこゝひくゝよ　通明

人の世ハうゝあ和とあるひをを君をゝ一人をハさもあうりけり　照信

人の変に枝ふをくて

ものつよの木の枝ゝやとゝんよゝせをてあてきゝてゝるおを　氏見

武野来ゝ六十賀に

ゝゝ波もゝさゝををてゝゝをくつて君ゝゝゝひのあゝゝを舞　通明

長流七宮ゝ六十賀に

ゝゝあひのあをゝゝやくゝあゝくゝてよ代とゝをんを君をゝをゝ　寿澄

枯木栄ゝ七十賀に

いくつゝくゝゝゝゝあし君ゝ代をゝをゝもゝゝるゝをゝもあゝゝや　周徳

出雲玉人為重老ゝ七十賀に

ゝゝをゝをゝゝゝゝゝる水の水ゝをゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝよ　高輌

ゝゝをゝをゝのゝの所ゝゝゝゝゝゝ人の変にあゝゝゝゝゝゝ今ゝをゝゝ流

をゝゝゝゝゝゝ

きうみ[illegible]　秋誠

紀の國名草郡氷穂の郷士山名直豊ら六十女に

春　松　春をこそこゝろのもゝきあらそひなれ　三子

秋　松　もみもまる松はありとも君代の　恒俊

冬　松　ふりうつむ雪にをりをとてうゑし民はなりけり　直臣

社頭　松　君代を祈のよるなるしるしとへやちよやちよとうゝまさにのる　直幸

婚姻　松　春日山松ふくかぜもきみ代のよ年といのるこゝろとをきく　吉祥

十くりのつむさしめしに松ゝ枝にゝ代もまちんとつる[illegible]　盤

直樹

寄月祝　万代の松ゝ枝にすくへとやあしたの月の影にすくへとゝん　直道

寄花祝　とゝをへていやをさかりにてる月にたをりをおくこゝろをもむくき　宅由

寄雪祝　花のトふるにゝ春のしるしとやゝ代のさかりをふるみゝ[illegible]ん　楽水

寄菊祝　沢ふかるあやめのそゝ代松をもそみきゝるとゝにゝ[illegible]ふる　通明

寄松祝　ゝ代をへてきゝ[illegible]ゝ春のきくはふかをもあとゝおゝ[illegible]ゝとゝふ　貞子

寄竹祝　とゝくぬ松のみさをとゝ[illegible]ゝ君ゝとゝにゝ[illegible]ふん　元子

おひしたゝゝ名水ゝ名ゝゝ君ゝゝ年の数ゝゝゝふん　通明

おひけるこゝのゝれ井ゝもまひにゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝん　守正

景福

寄世祝　[illegible]　譲

寄國祝　[illegible]　重名

寄関祝　[illegible]　正孝

物集高世の辞格をもうけてその意富のおこひげに寄書祝　治世

[illegible]　直幸

昊の永吉雄の皇系録のたまへる年七十にありめとて寄亀祝とりの数ふておこひ[illegible]

書おくるあやつ亀も若ますとあり[illegible]　直孝

四海清　[illegible]　義年

天下太平　大君の[illegible]　珠子

書題　太平代　[illegible]　光徳

[illegible]　直幸

[illegible]　英子

[illegible]　重素

[illegible]　直豊

[illegible]人の何とかの道とかいふまでもなく拾
[illegible]
や今のやうにまでなりゆきしかの作例をもとにして
く考へ合せ考ふれば[illegible]
拾ひ[illegible]集も承拾集大人の今さらふめり
けれどもとにかくにふる稽しと稽その選をあれてかく拾
しるかぎりたくあるべきの人々はなほなほ作例
と考へ合せれとせむかもとにかくにてこれなり

年ごとに、世のことわざ、今よりとし年毎に抽んでたる人、集
はべるをもやめしくとふ意にて、こゝろみに、注をくはへ
なむとて、集、今年の三月はじめ、俄に思ひたちて
物ふかき遠き境の人にも事のよしを言ふ始
まりて、たゞ近きほどの歌のことわざをたゞし
大人のすゝめに成て書かへ、或は書みだれたる人を
のさとり知てふかきも浅きもみものがしるゝもこと
葉を、そ穂の津よりとれとえらびとゝのへてふ

春の部

とゝのへたりとなれぬものはいかゞとそ、さる方なく物を
も言はれぬとなくなくとそ言ふ作者のうへとて
くさ〳〵世に、名をなる下〻いそやしきものとそ
いそぎてのこゝろ、彼の物そなうるもしく、えとらの人の
祈と集のさまもかゝるふたりそこゝのせ物といふ
おのつきは二篇の科のうちにもたゞ
その言ふをいそまねなるさ後ふ抽ん法へ
物きて世の人もふかの事あるを紀のほとは遠代人

[illegible]

[illegible]

[illegible]

夷守 周防三田尻 五十君又一郎
有政 豊後杵築藩 市原篤亭
有彰 京 桂藤左衛門
一徳 肥後藩 上田久兵衛
逸子 豊前宇佐郡猿渡村 田口三平母
友子 豊後杵築 荒巻恒作妹
友道 同杵築藩 片山愛右衛門
いき子 豊前四日市 渡邊修斎女
いち子 伊豆君沢郡江間村 石井通駿妻
由周 豊後臼杵藩 河合弥忠太
葭住 同杵築 山下得民

八

繁里 紀伊田辺藩 熊代源蔵
繁穂 豊後府内 山田善作

繁幹 豊前築城郡角田村 森庄三郎
繁蔭 紀伊田辺 榎本弥輔
伴雄 紀藩 長澤衛門
半満 豊後杵築 田中四大
槃 同別府 橋本源助
房澄 豊前京都郡前田村 末松七右衛門
芳蔭 紀伊田辺 藤木五郎兵衛
芳樹 長門藩 近藤晋一郎
梅里 豊後杵築 中野弥助
梅丘 同 一柴院
八千子 同 荒巻継蔵女
方安 同府内 幸松雄三郎
匏方 同府内 幸松庄五郎
方長 同臼杵藩 宮川昌翁

二

日皖 豊前小倉 真淨寺

(ホ)

保知 肥後藩 豊後鶴崎住 重田九一郎
豊足 同宇佐郡乙女村 中嶋豊足
豊樹 同出津郡今井津祇園大宮司 片山出雲守
豊房 同 佐藤喜兵衛

(ト)

藤子 豊後府内藩 須藤住右衛門母
保命 豊前上毛郡黒土村 高橋庄兵衛
豊樹 同小倉藩 山名次郎兵衛
豊秋 肥後藩 沼澤亀之進
啓惠子 同日出藩 河野東蕃妻

(チ)

直兄 京 松田伊豫守
直孝 同京都郡大嶋神主 宂村豊後守
直古 同田川郡八幡神主 箕田遠江守
直平 同企玖郡築嶋神主 川江兵部
直躬 京 水野恕平
直子 同日出藩 二宮玄碩妻
直樹 同 杉村辰次郎
直養 豊前小倉藩庄三郎改名 西田直養
直諒 同中津藩 黒田兵太夫
直輔 同小倉藩 柏木仲右衛門
直愛 大坂 松田和右衛門
直行 豊後日出 手嶋那須吉
直通 同杵築 田中幸作
直幸 同杵築藩 倉成齋兵衛

直臣 周防宇市高鞆男士丁 鈴木静枝
直道 同 鈴木和泉
重年 紀伊三名部 糸川猶四郎
重任 豊後臼杵藩 藤田和佐助
重峰 同 稲巣實
重良 同 太閤與太
重剛 同 岡藩 古田右馬允
重恊 同 古田四郎五郎
重樹 豊前小倉藩 宮崎功
重名 同中津大江八幡大宇司 渡邊上野介
重蔭 同 渡邊越後介
重春 同 渡邊上野介
重枝 豊後森藩 伊藤又兵衛
重素 同速見郡鶴見 直江郁藏
重義 豊前中津藩 黒屋甚助
重之 大和郡山藩 釘谷淳碩

重英 讃岐丸亀藩 小野松助
重威 豊後杵築藩 小串仙助
智春 讃岐丸亀 柴山英次郎
智圓 周防通津浦 専徳寺
知言 豊前小倉藩 犬飼主馬助
知足 同宇佐郡中洲賀 宇都宮文明
知之 豊後杵築 吉田佐平次
知紀 薩摩藩 八田喜左衛門
治世 豊後臼杵藩 村井權平
治貞 同杵築 市丸萬三
忠厚 同 森本喜三七
忠俊 同杵築藩 槁本雄三郎
忠哲 同速見郡頭成 稲光吉左衛門
仲子 豊前四日市陣屋 飯村半蔵母
陣正 豊後杵築 朱永三郎右門
長俊 同臼杵藩 味岡孫六

鎮國 同 岡藩 宗 揖磨

(リ)

利哉 豐後 臼杵藩 後藤市之亟
利匡 同 後藤市郎右ヱ門
利隆 同 後藤市郎右ヱ門
利次 同 今村金右衛門
之禮 近江 八木賢之助
柳子 豐前 四日市 渡邊菊翁女
隆鄰 同 中津藩 渡邊直三郎

(カ)

高鞆 周防 宰市 鈴木武雄
高重 紀伊 田辺 岡崎喜兵衛

(ヨ)

高豹 豐前 小倉藩 池松淳安
高訓 長門藩 周防 三田尻住 蔵重貫一郎
高紹 山城乙訓郡 神足村 岡本三郎右ヱ門
高子 豐後 竹築 物集高世妻 有田氏
高德 同 物集英二
高見 同 高世男ノ才 物集善太郎
高材 同 高世男七才 物集清二
幸雄 京 菱田吉右衛門
可逸 豐後 府内 平松文明
孝憲 同 岡藩 田能村行蔵
孝之 同 杵築 奥村和平
孝經 同 中嶋小左衛門
簡子 同 日出藩 勝田安百女
行敬 京 青木右兵衛大尉

奬志尾 周防岩国 片岡禎夫

(タ)

恭平 紀伊田辺 鈴木玄朴

宅由 豊後杵築藩 須田弥左衛門

宅輝 同 工藤方策

道敬 豊後杵築藩 廣石八郎

(ン)

霊泉 紀伊牟婁郡湯崎 金徳寺

容壽 豊前築城郡椎田駅 井上重三郎

恭龍 薩摩鹿児嶋 大乗院内

宅里 同 須田内蔵允

道一 紀伊田辺 那須熊吉

端之 同速見郡頭成 脇谷雲亭

禮子 豊後杵築藩 浅野氏

(ソ)

尊孫 出雲大社千家国造 天日隅宮御杖代

尊澄 出雲大社 千家杖代彦

宗定 豊前蜂屋 大伴某

宗備 同宇佐郡金屋村 南西蔵

宗通 京 梅沢三之進

宗紀 豊後府内藩 須藤任右衛門

宗隆 同岡藩 小畑鹿太

宗憲 同杵築 後藤熊哉

孫重 出雲杵築神官 赤塚糸女

素當 肥後藩 本間忠助

則定 豊後岡藩 辻平馬

(ツ)

通尹 豊後森藩 久留嶋門蒡
通明 同杵築藩 河野角左衛門
通彝 同日出藩 河野東菴
通子 同杵築 庄野平助母

(ネ)

年賢 豊前中津藩 水嶋千賀造

(十)

南扉 豊後府内藩 益田利太夫

(ラ)

楽水 豊後杵築 田中善左衛門
楽子 同 物集甚四郎妻

(ム)

むら子 豊後杵築 物集善右衛門女

(ウ)

運子 豊後杵築 磯邊氏

(ノ)

毗安 豊後岡藩 中村平太郎

(オ)

應信 豊後別府 西法寺

(ク)

光久 京 堀尾常陸掾

光徳 豊前築城郡 安武村 畑 市六

廣行 同 中嶋隼太

廣業 肥前田代今泉 天満宮神主 長谷部丹波正

廣端 肥前 長崎 高田衛十郎

菅夫 豊後速見郡 頭成 溝邊又兵衛

寛命 豊前築城郡 延永村 山本弥左衛門

光明 豊後 杵築 末廣友吉

廣足 肥後藩 長崎住 中嶋太郎

廣道 大坂 萩原廣載

廣業 豊前 小倉藩 石原岩太郎

廣房 肥後藩 本田三郎

菅賢 紀藩 古屋藤之助

昊子 同 中津藩 奥平右近母

卧山 豊後 日出 鈴木吉平

宏生 同 杵築 後藤運平

(ヤ)

養長 肥後藩 将野藤太

(ケ)

言林 出雲 杵築 中 式部

顕平 紀伊 田辺 田所八郎

顕周 同 田所左衛士

景直 同 荒巻 小助

無有 豊後 日出藩 二宮玄碩

顕豊 同 田所為之助

景福 豊後 杵築 荒巻為右衛門

景純 同 荒巻 亀吉

敬養 豊前小倉藩 小川次郎太郎 經連 肥後阿蘇宮神官 宮川駿河
經一 同 宮川遠江 惠篤 豊後杵築 田川治之助
建雄 伊豆伊東 濱野臺平 巖正 肥後藩 横田勘右衛門
巖足 同 和田震七 継照 豊後杵築藩 安西紈齋
継子 同日出藩 河野東菴母 矯 豊前中津藩 黒屋兵太夫
橋夫 豊後杵築藩 川上而作 元固 同 中野兵之丞
元章 筑前福岡 加瀬典七郎 元子 筑前藩 野村新三妻
元子 讃岐丸亀藩 戸祭彦三郎妻

(ノ)

文成 周防都濃郡夜市 原田市郎左衛門 文則 豊後杵築 森本權次郎
孚 同 吉武壯三郎 佛足 同府内 來迎寺
武延 同臼杵藩 久渡市郎治 武蕃 豊前字佐郡麻生村 麻生田郎左衛門

(二)

古風 長門藩 冷泉信左衛門 國風 豊後岡藩 赤座令藏
興道 同杵築 荒巻謙助 興央 同臼杵藩 若林仁左衛門
浩菴 同杵築藩 竹本浩菴 恒俊 同 殖村悅之助

弘光 豊後杵築 末廣 運吉

(工)

延之 京 河本 文助 映空 豊前小倉 西生寺

榮子 同四日市 渡邊恒右門妻 英子 豊後杵築 物集善右門妻

(丁)

定行 豊後杵築 田中 安助 定矩 同臼杵藩 佐藤 三眠

定教 豊前上毛郡塔田村 戸早新右衛門 定興 豊後杵築藩 内田 直作

貞雅 同岡藩 堀 渡郎 貞子 同杵築 荒巷為右衛門女

蝶子 豊前中津藩 村上玄秀母 貞方 肥後藩 安田 市助

朝信 對馬藩 大嶋友之愈 典則 豊前鴨嶋 青木 左平

(ア)

安居 豊後杵築藩 十市 中 安之 同 三浦多一郎

愛子 同杵築 田中幸作妻

(廿)

三子 京 堀尾紀伊掾 三春 肥前長崎 山本 直翁

三冬 讃岐高松藩 友安 良助 察聞 山城乙訓郡神足村 觀音寺

操子	豊前小倉藩	西田直養女	在由 豊後臼杵藩 飛田三平
さみ子	同岡	矢野勘三郎妻	蒼生麿 京 佐保徳兵衛

（キ）

義直	京	和泉良蔵	義快 紀伊三名部 大野松軒
義暁	豊前京都郡撫田村	村上彦九郎	義和 豊後岡 矢野勘三郎
義信	同杵築藩	井村謙之助	義敏 同臼杵藩 宗方次郎八
占祥	同	武藤祝	吉子 同杵築 荒巻恒作祖母
飲子	同	荒巻謙助女	軌徳 豊前蜂屋 手嶋晋

菊甫	豊後杵築藩	梶江孝三郎	菊子 同杵築 荒巻為右衛門女
御民	同	浅田恕作	李秋 同 後藤三英
鬼佛	同府内	來迎寺	久籌 同府内藩 増田茂太夫
琴子	豊前宇佐郡盛山村	教覺寺室	

（メ）

名臣	京	神代一作	明 豊前四日市 渡邉修齋

（シ）

春尚	紀伊三名部	池田圓兵衛	春岳 肥後藩阿蘇郡住 野田一郎右衛門

春蔭 肥後藩 阿蘇郡住 山井 某
春園 豊後 杵築藩 加藤 春園
春子 同 物集高世妻
春津 周防 宇市 難波梅四郎
春雄 紀伊 三名部 石田 原蔵
絲子 同 杵築藩 元田 氏
真鶴 伊豆 伊東 濱野忠兵衛
真中 京 今堀 一二

春郷 肥後藩 磯田 善助
春野 同 杵築 小林 真吉
春朝 紀伊牟婁郡 熊野古座浦 佐藤長右衛門
春樹 豊前 四日市陣屋 飯村 半蔵
春鞆 豊後 佐伯藩 橋迫 内記
真守 同 乙津 後藤今四郎
真足 肥後 熊本 羽田 太次郎
真行 讃岐 丸亀 遠山傳之助

真鋤 京 高田庄兵衛
秀智 同 臼杵藩 稲葉重五郎
秀和 肥後熊本 藤崎太宰司 吉永美濃守
信寛 讃岐 丸亀 小田 退蔵
守只 豊後 乙津 後藤弥四郎
守正 讃岐 夏麦津 三宅荘之助
種知 紀伊 三名部 堅田茂右衛門
種懿 同 企玖郡大里 住吉神主 峯 甲斐守

秀幸 豊後 杵築 福田玄機
秀野 紀伊牟婁郡 冨田 望月丈平
信質 信濃伊那郡 座光寺村 北原森右衛門
信世 肥後藩 武田 文平
守道 同 杵築 工藤 悦蔵
守年 伊豆田方郡 牧野郷 飯田 儀助
種美 豊前企玖郡 到津八幡神主 川江河内守
種信 豊後 杵築 磯邊 禮二

種 豊前小倉藩 佐久間 種
周徳 同 村田 運平
勝正 同 杵築藩 浅野三左衛門
之正 出雲杵築 千家 山城
之祐 豊後日出藩 勝田 安石
壽亂 同杵築 奥村芳兵衛
氏見 同杵築藩 入江正左衛門
俊栄 出雲大社 千家 孫九

周正 豊後杵築 村田 理蔵
勝成 同日出藩 杉原藤十郎
勝長 大坂堂嶋 岡田 半蔵
之重 同 赤塚 樂翁
壽重 同府内 桑原文兵衛
氏保 同府内藩 守田 高菴
諸史 周防岩国 上林 圓蔵
秋房 肥後藩 臼杵 亭助

志二の子 豊後府内 児玉七右衛門妻
尚孝 同杵築藩 佐野 董鳥
淨曜 同臼杵 善正 寺
昌式 紀伊牟婁郡三栖 飯冨 立賢
粧子 同 荒巻寛蔵女
兼庸 若狭小濱 里見忠次郎
勅臣 周防都濃郡戸田村 山田 郁之亟

讓 同杵築 吉武茂左衛門
照信 同 渡邊 近蔵
恕乎 讃岐丸亀藩 菅 養菴
順良 豊後杵築 正覚 寺
珠子 同 溝部孝二妻
純信 紀伊牟婁郡湯崎 金 德 寺
楯臣 肥後藩 木原 楯太

氷山 大和郡山藩 三崎 氷山 美年 豊前小倉藩 長田 種助

(モ)

茂枝 伊豆熊坂 竹村平右衛門 茂正 同 竹村源五郎

茂樹 豊前宇佐郡中洲賀 一首以喜七郎 茂子 同小倉 齋藤文寂母

茂 豊後杵築 玄昌寺

(ヒ)

正臣 京 廣瀬 右京 正胤 紀伊田辺藩 矢野平右衛門

正孝 豊前蜂屋 浦野 玄明 正範 同中津藩 猪飼太兵衛

正度 豊後杵築藩 中根長三郎 正民 同 平井哲次郎

正盛 同 小松 丈吉 正教 京 喜村敬次郎

正勝 安藝廣嶋 末田忠八郎 正熙 豊後杵築 原田正左衛門

正躬 讃岐丸亀 遠山惣兵衛 正雄 伊豆熊坂 竹村 源吾

正雄 豊後杵築藩 坂西武兵衛 正直 同 笠置 權平

正直 讃岐丸亀 遠山喜平太 正敏 同 田中孫兵衛

正準 同 田中孫十郎 正之 同 遠山 鹿藏

清息 同 西山 某 清臣 豊前下毛郡上津野宮神主 高橋伊賀守

清邦	長門下ノ関	古森文次郎	清秋 京	長谷河治兵衛
政方	豊前築城郡溝村	奥村 道策	政子 豊後杵築	物集外兵衛妻
宣也	同臼杵藩	加納庄太夫	宣忠 山城乙訓郡神足村	岡本弥兵衛
善継	紀伊田辺藩	牛尾弥五兵衛	仙翅 豊後杵築	財前儀左衛門
川蔭	肥後藩	小山一太郎	浅子 豊後臼杵藩	津守氏
齊	同球珠郡辻馬村	松川帰一	舛子 同府内藩	守田高菴妻
石足	肥後阿蘇郡久木野村	山村春英	成子 豊後日出藩	勝田安石女
盛次	伊豆熊坂	竹村源助	盛行 同	竹村新兵衛

(又)

數子	豊後日出	鈴木氏

通計三百五十九人

物集高世大人稿編

○近世畸人集　　又冊　乙刻

物集高世大人稿編

西田維恒大人校正

○歌歌春子集二稿　　二冊　乙刻

[illegible]

浄瑠璃草取次所

江戸日本橋吉左衛門　　源原屋義兵衛

京寺町錦蔦屋卯兵衛　　恵比須屋市右衛門

同東洞院二条上ル　　田中屋治助

大坂心斎橋通久宝寺町　　敦賀屋義七

同心斎橋通安堂寺町　　秋田屋太右衛門

物集高世先生著述書目

本言考　一冊

こは詞といふものの起原を考へあらはしたるべく光のヒカリはヒと本言にて
カリは形容言にて〈〈る辭なる事文字にいはばヒは扁カリはつくり此如くなる
おてゝとの言ハいとなくまた後に數万は言にて〈る古人未發の說を
〈る書なり

辭格考　五冊

てゝはとゝの辭なるの詞玉緒にいへる語の〈〈のひのもぢより外にもをゝくの
種々の格あるべきを八代集にいへる物なるを先生あ〈〈考得て其格を
定められたる書へられば歌文を学ぶ人を必ずとなるべし

辭格考抄本　二冊

辭格弁疑　二冊

歌学新論　一冊

近世の歌の風体をぐるぐる論じて上代の歌人の心ばえのいかなりし事をあらしなべて古今に真情を述べきたるものなれば傷事をつくるはひがごとなるよしをさとしてさて歌よむ心得を教へらるる書なり

古今集新註　十五冊

此集の注解を何くれといと多くなれど先生は別に一流の見識ありてその説を述べらるるなり

葎屋歌談　初篇　三冊

こと先生のもとにあつまるともがらの歌人どもがよむうたを記しとどめたるつもりて心得べき事ども多くさとされて真に歌のいろいろを知らんとせん人々はこれをあらまし抄書なり

作文要語　一冊

文をつくるその用をあらかじめ人のあつ源氏物語の中にえらびあつる詞を悉くあげ出さく喜怒哀楽などやうに部をとりけてよろづ事をいふんとする時は喜の部いかる事をいふんとする時は怒の部をつくるべきれば詞のえらびあつまるを一覧しあらまほしやうにおもせらるべし文かん人のまぶべきかる机右をとりあつめしるし抄書なり

玉葛　二冊

こは消息文かなづかひなどもとる人のために日用の俗文をあげて平仮雅文に訳せるものにて其の例を案ずるに伊呂ハの部分のせれば甚便なり　一冊

こは諸の経史の中より人のをしへとなるべき事どもを抜ひとりあつめ出所を舛に永陣正めし標注を志るせり　五冊

近世長歌集

類題和歌春草集　毎篇三冊

こは今世の名ある人のよみ出せるものを毎年一篇づつ編集せるものなり

大坂心斎橋通安堂寺町　宋栄堂秋田屋太右衛門発兌

諸國　豊後竹簗　肥後屋半兵衛
筑前博多　肥後屋治助
肥後熊本　薩州鹿児嶋　長州萩　藝州廣嶋　備前岡山　播州姫路　紀州若山　同　江戸　同　京　同　大坂　同

豊後屋治助
多飛屋太右衛門
豊前屋
青木静右衛門
山城屋彦八
井筒屋嚴蔵
中嶋屋益吉
灰屋輔二
坂本屋喜一郎
坂本屋大二郎
山城屋佐兵衛
岡田屋嘉七
須原屋茂兵衛
田中屋治助
恵比須屋市右衛門
敦賀屋彦七
秋田屋太右衛門

発行　書林